

精神科急性期病院における深部静脈血栓症の実態及び高齢者における解析

1. 研究の対象

2022年1月1日から2022年12月31日までの期間に当院に入院中であり、下肢静脈エコー検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

精神科救急急性期医療入院料病棟の運用面において、6割以上の3ヶ月以内の自宅退院が要求されています。しかし、入院される患者様の高齢化に伴い、様々な身体合併症を併発し、結果として入院期間が延長する例が散見されております。また精神症状が重篤であるため隔離や身体拘束といった行動制限が必要となるケースが多く、深部静脈血栓症を発症する危険が高いと考えられます。日本循環器学会ガイドラインでは深部静脈血栓症に対して最短で3ヶ月間の抗凝固療法が推奨されていますが、精神科救急病棟の入院期間中の治療完結は困難であり、退院後の治療継続に難渋するケースもありました。加えて、高齢者の転倒が多く、時に頭蓋内出血を発症する例もございました。

そこで、当院入院中の患者様において、下記期間内で深部静脈血栓症治療の実態及び高齢者における解析を行います。

2022年1月1日から2022年12月31日までに当院入院中の方で血液検査結果などから101名に深部静脈血栓症が疑われ下肢静脈エコー検査が行われました。上記検査結果を後方視的に解析します。この研究は理事長許可取得日～2023年10月7日まで行われます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：血液検査、下肢静脈エコー検査、内服薬など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報がこの研究に用いられることについて患者さんもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：社会医療法人北斗会 さわ病院

大阪府豊中市城山町1-9-1、06-6865-1211(代表)

研究責任者：診療部、医師：東 賢志